

留 学 報 告 書

記入日:2016年5月19日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ニューヨーク州立大学ニューパルツ校 現地言語: State university of New York at Newpaltz
留学期間	8年19月～5年13月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年5月21日
明治大学卒業予定年	2019年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月中旬→2月中旬 2学期:1月中旬-5月中旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	

留学費用項目	現地通貨(US\$)	円	備考
授業料	0	円	
宿舍費	4,000	440,000円	
食費	4,000	440,000円	
図書費	0	円	
学用品費	500	55,000円	
教養娯楽費	0	円	
被服費	150	16,500円	
医療費	0	円	
保険費	2,000	220,000円	形態:
渡航旅費	2,000	220,000円	
雑費	0	0円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	12,650	1,391,500円	

渡航関連

渡航経路:日本→韓国→ニューヨーク

渡航費用

チケットの種類 _____

往路 80,000円

復路 10,000円

合計 18,000円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

Expedia

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の宿舎

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 2)

3)住居を探した方法:

大学の斡旋

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮は古い寮から新しい寮があり、入寮一週間後に部屋を変えることもできる。寮で友達との交流も増え、非常に快適。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか?大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

アドバイザー

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

現地の友達からの情報、防犯対策をするほど危険でない。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校の敷地内にいる限りは、どこでもWi-Fiが使える。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で開設したクレジットカードのみを使用していた。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

卒業後の進路について

1)進路

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7)その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 23 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intro Latin America Studies	ラテンアメリカ学入門
科目設置学部・研究科	Latin American&Caribbean Studies
履修期間	fall semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 70 分が 2 回
担当教授	Prof. Cesar Barros A.
授業内容	ラテンアメリカの政治、文化についての基礎知識を身につける。講義プラスディスカッションで授業が行われていた。
試験・課題など	中間試験、期末試験、ファイナルレポート、毎授業のショートレポート。
感想を自由記入	この授業で、ラテンアメリカの政治、文化について基礎知識が身についた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intermediate Spanish 2	スペイン語中級2
科目設置学部・研究科	Department of Languages, Literatures & Cultures
履修期間	fall semester
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 70 分が 3 回
担当教授	Prof. Ligia S. Aldana
授業内容	文法を学び終えた学生が取る授業であるため、会話表現などが中心の授業。スペイン語オンリーの授業。
試験・課題など	中間試験、期末試験、毎授業のリーディング20ページほど。
感想を自由記入	日本で取った、1、2年の英語の授業のスペイン語版のような感覚。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Environment and Culture	環境と文化
科目設置学部・研究科	Department of Geography
履修期間	fall semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Prof.Melissa Y. Rock
授業内容	環境と文化のつながりを知る。グローバリゼーションの影響を中心に地理学を学ぶ。
試験・課題など	中間試験、期末試験、5つのレポート、毎授業のリーディング30ページ
感想を自由記入	グローバリゼーションの影響、変化について知識を深めることができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Elementary Chinese 1	中国語初級1
科目設置学部・研究科	
履修期間	fall semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 70 分が 3 回
担当教授	Prof. Hanmo Zhang
授業内容	初級中国語
試験・課題など	中間試験、期末試験
感想を自由記入	この授業をとる必要はなかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Ancient Mesoamerica	古代メソアメリカ入門
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	spring semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Prof. Jennifer Loughmiller-Cardinal
授業内容	メソアメリカ、主にインカ、アステク文明について扱うクラス。
試験・課題など	中間試験、期末試験、レポート3回、毎授業、リーディング50ページ
感想を自由記入	この授業ほど面白いクラスは今まで無かった。教授が文化人類学教授であるため、オカルトのクラスのように感じることもあったが、今まで出会った教授の中で一番といえる人に出会えた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Cultures of South America	南米の文化
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	spring semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Prof. Benjamin Junge
授業内容	南米の政治と文化についての講義。ラテンアメリカにおける、民主主義と暴力のつながりをケーススタディーを用いての講義であった。ブラジルとベネズエラに重きを置いていた。
試験・課題など	中間試験、期末試験、ファイナルレポート5ページ、毎授業1ページのレポート
感想を自由記入	ケーススタディーがかなり面白かった。ブラジルのファベラ観光について半セメスターを費やし、深い知識を得ることができた。ラテンアメリカにおける、民主主義と暴力のきれないがよく理解できた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Latin America History Since 1825	ラテンアメリカの歴史 1825年以降
科目設置学部・研究科	History
履修期間	spring semester
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)

授業時間数	1週間に70分が3回
担当教授	Prof.Christopher Albi
授業内容	ラテンアメリカの歴史。
試験・課題など	中間試験、期末試験、ブックレポート、ショートレポート5枚
感想を自由記入	ラテンアメリカの歴史を、詳しく学ぶことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Latin American Politics	ラテンアメリカの政治
科目設置学部・研究科	Political Science & International Relations
履修期間	spring semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Prof. Philip Mauceri
授業内容	ラテンアメリカの政治。各国の政治を考察し、新自由主義の影響、民主主義と暴力などをテーマに取り扱った講義。
試験・課題など	中間試験、期末試験、ファイナルレポート
感想を自由記入	ラテンアメリカにおける、政治について知識を深めることができた。新自由主義、恩顧主義、ポピュリズムについての講義が興味深かった。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2014年 1月～3月	
4月～7月	英語の練習
8月～9月	TOEFL の勉強を始める
10月～12月	TOEFL 受験、必要な点数を満たす
2015年 1月～3月	留学面接、選考
4月～7月	留学準備、英語の練習、ビザの取得
8月～9月	出発
10月～12月	
2016年 1月～3月	
4月～7月	帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	英語の上達と、スペイン語の上達が一番の留学の目的です。ニューヨークでは、街に出ればわかりますが、スペイン語話者がかなりいます。そのため、ニューヨークは、英語もスペイン語も学べる絶好の留学先でした。言語上達は、日本でもできますが、その言語の話されている国で生活することが一番だと思い、留学を決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	何と言っても、会話力を向上させることが一番大切です。言語に関しては、最低限の日常会話さえ話すことができれば、生きていけます。あとは、留学先で自然に話せるようになっていきます。準備といった準備はあまりしていません。しかし、それに対して後悔はありません。留学先に来て、苦労をすればするほど、経験になりより意味のある留学になると考えています。
この留学先を選んだ理由	この留学先を選んだ理由は、ニューヨークに行けば、英語とスペイン語の上達ができると思ったからです。実際大学にも、中南米からの移民や留学生も多く、スペイン語を話す機会も多くありました。他には、資金の問題で、協定留学で行くことができ、奨学金をもらえるということが大きな理由でした。
大学・学生の雰囲気	大学は穏やかな環境にあります。ニューヨークシティから、バスで一時間半かかる田舎に位置しているため、治安もかなり良く、自然豊かでとても満足のいくキャンパスです。勤勉な学生も多く、いい刺激を受けました。学力のレベルは、高いというわけではありませんが、授業態度は日本の大学とは比べ物にならないほど良いです。
寮の雰囲気	寮は、現地の学生と交流ができる良い機会です。自分の部屋は、8人部屋のスイートルームで、二人部屋が四つあり、プラス共同スペースがあるという形でした。スイートメイトとは、パーティーやゲーム、テレビなど、共に過ごす時間が多いです。ただ、清潔感など、いろいろと日本人とは感覚が違うため、苦労することもあります。
交友関係	スポーツを通じて、友達を作る機会が多かったです。留学先に着いた日に、サッカーに参加し、ブラジル人と仲良くなり、その仲間と留学生活の大半を過ごすようになりました。それから、テニス、バレーボール、卓球など、スポーツを通じて友達が増えました。スポーツをやっていると言葉が最初は通じなくても、気持ちは伝わるため、いい交友関係を築くことができると思います。
困ったこと、大変だったこと	寮の騒音には、困ったことがあります。平日から、真夜中にもかかわらず、大音量で音楽をかけることは、よくあります。一番大変だったことは、クラスの課題です。難しいことをやれと言っているわけではないですが、課題の量が尋常ではなく、苦労しました。多くのクラスでは、中間テスト、期末テスト、5→10枚のファイナルレポート一枚、プラス毎クラスのリーディング30ページがあり、初めは手に負えませんでした。
学習内容・勉強について	ラテンアメリカ、カリビアン専攻で勉強していました。どれも、質の濃い授業で得るものは多かったです。最初は、教授が何を言っているのか曖昧でしたが、時間が経つにつれて、理解が深まりました。課題の量には苦戦しましたが、深い学習ができ、とてもいい経験になりました。
課題・試験について	課題量は膨大でした。明治大学とは比べものにならない程、課題の量があり、とても苦戦しました。難しい内容ではないですが、今までにない課題の量には圧倒されました。しかし、それと引き換えに、学ぶ楽しさをまた知ることができ、より知識を深めることができたため、苦労していい経験を得られたと思っています。
大学外の活動について	大学外の活動に参加する機会はあまりなかったです。
留学を志す人へ	留学という経験、また留学先で出会った、世界中から来た友達はかけがえのないものになります。日本でも、意志があれば英語学習はできますが、その言語が話されている国に行き学ぶことが、一番です。留学先では、自分の知らない世界で、いろいろな価値観と出会い、自分を磨くことにつながります。

1週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	授業	フリー	フリー
午後		授業			授業		
夕刻		授業					
夜					バレーボール	バレーボール	勉強、宿題

